

平成29年度 けやきの村相談支援センター事業報告

けやきの村相談支援センターは、地域に開かれた相談窓口としての機能と、利用者の意思及び人格を尊重し、その人らしい生活を安心して継続できるようにするための適切なサービスの提供機関としての役割を果たすため、「平成29年度社会福祉法人けやきの村事業計画」に基づき、それぞれの事業所が連携を図りながら事業を行いました。

1、運営管理

センターは、公正中立的な立場を基本として、高齢者や障がい者等の多様なニーズに応えるとともに、地域における一元的な相談窓口としての機能を果たすため、職員一人ひとりが専門職としての自覚を持ち、地域から必要とされるセンター運営に努めました。

2、実施した事業

I. けやきの村指定居宅介護支援事業所

けやきの村指定居宅介護支援事業所は、介護保険の基本理念である「利用者の自己決定の尊重」・「自分らしい生活の継続」および「自立支援」を基本として、つねに利用者の意向を踏まえた居宅サービス計画を作成するとともに、その計画に従って適正にサービスが提供されるよう関係事業者等との調整を図り、利用者やその家族の多様な希望や要望に対応しました。また、地域包括支援センター、医療機関、行政等の関係機関との連携を密にして、公正中立な立場で適正な居宅サービス計画の提供が行えるよう、事業所間の連絡調整を行い、利用者の選択に基づいた支援を行いました。

(1) 実施した事業の内容

- ① 利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立って、公正中立な居宅介護支援の提供を行いました。
- ② 要介護者等の特性を踏まえ、利用者がその有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるようにするための支援を行いました。
- ③ 関係市町村、地域の保健・医療・福祉サービス事業者等との連携を図り、総合的な居宅介護支援を提供しました。
- ④ 福島市等からの業務委託による要介護認定に伴う認定訪問調査は、適正に調査を行うとともに、提出期限までに提出しました。

〔居宅サービス計画の作成件数及び、介護認定訪問調査の実施件数〕

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
計 画 作成件数	152	143	144	147	145	147	
訪 問 調査件数	19	15	14	10	12	12	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
計 画 作成件数	147	153	157	160	166	165	1,826
訪 問 調査件数	14	14	18	19	25	22	194

居宅サービス計画作成件数

1,826件（平成28年度：1,695件 前年比 +7.7%）

介護認定訪問調査実施件数

194件（平成28年度：208件 前年比 -6.7%）

※介護認定訪問調査実施契約市町村⇒福島市、伊達市、本宮市、富岡町

（2）研修・諸会議等への出席状況

職員の資質向上及び、事業に関する情報の収集等を目的に、各種研修会・会議等に積極的に参加しました。

「成年後見制度と市民後見人」セミナー 2名

高齢者の自立支援に向けた介護事業所向け研修会 1名

高齢者の自立支援に向けた地域ケア会議理解促進講演会 1名

「県北医療圏域退院調整ルール」運用評価会議 4名

介護支援専門員専門研修Ⅱ 1名

認知症対応力強化研修会 5名

精神保健福祉関係職員テーマ別研修会 3名

福島市介護支援専門員連絡協議会研修会 2名

職場におけるメンタルヘルス研修 1名

認知症高齢者のケア研修会（法人内研修会） 1名

福島市自立支援型地域ケア会議理解促進研修会 1名

県北地域現任認定調査員研修会 5名

福島市自立支援型地域ケア会議 2名

介護保険制度改正に係る説明会 1名

Ⅱ.福島市飯坂北地域包括支援センター

福島市飯坂北地域包括支援センターは、高齢者の多様なニーズや相談を総合的に受け止め、高齢者が住み慣れた地域で、尊厳のあるその人らしい生活を継続できるよう、公正・中立な機関として、地域の高齢者等の心身の健康の保持及び安定のために、地域の保健・医療・福祉サービスやインフォーマルなサービスなど、多様な社会資源を適切に利用できるよう支援するとともに、その保健医療の向上及び福祉の増進を包括的かつ継続的に支援することに努め、次の各項目にそって事業を行いました。

（1）実施した業務及び事業の内容

① 総合相談支援事業

総合相談窓口としての地域包括支援センターの取り組みや機能について地域へ周知を行い、支援を必要とする住民の早期把握、早期対応に努めました。

・相談受付件数 2,112件

・サービス担当者会議 197回

② 一般介護予防事業

地域住民が介護予防についての理解を深め、主体的かつ継続的に介護予防に取り組むことができるよう支援しました。

・介護予防教室の開催 75回

・各団体からの依頼による教室の開催 15回

③ 権利擁護事業

高齢者の自己決定の支援に努め、消費者被害や虐待等の権利侵害の未然防止のため、住民や関係機関に対して必要な知識の普及・啓発を図るとともに、協働して早期発見・対応に努めました。

- ・虐待への対応 3件
- ・消費者被害への対応 1件
- ・啓蒙のための教室開催 2回

④ 地域ケア会議の開催

地域ケア会議の開催や民生児童委員協議会への出席を通して、個別課題の解決や地域課題の発見、住民や関係機関とのネットワークの構築、さらには地域づくりや社会資源開発等の検討に努めました。

- ・飯坂方部民生児童委員協議会への出席 11回

⑤ 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

介護支援専門員、医療関係、地域の関係機関等との連携を図るとともに、協働の体制作りや個々の介護支援専門員に対する支援に努めました。

- ・主任介護支援専門員交流会の開催 1回

⑥ 指定介護予防支援事業、第1号介護予防支援事業

高齢者が出来る限り要介護状態にならず、自立した日常生活を営むことができるよう支援しました。また、介護保険サービス以外の多種多様な社会資源も活用し、高齢者の自立の可能性を最大限に引き出す支援を行いました。

- ・介護予防支援、介護予防ケアマネジメント（要支援認定者） 1,360件
- ・介護予防ケアマネジメント（事業対象者） 129件

⑦ 地域づくりによる介護予防事業

地域住民が介護予防についての理解を深め、主体的かつ継続的に介護予防に取り組むことができるようになるための支援に努めました。

- ・福島市版介護予防体操体験講座の開催 1回
- ・福島市版介護予防体操実施団体への継続支援 1団体

⑧ 認知症地域支援推進員の配置に向けた取組み

地域住民が認知症についての正しい知識を持ち、理解を深めることができるようになるための機会作りに努めました。また、認知症地域支援推進員の配置に向けた研修会等に積極的に参加しました。

- ・認知症カフェ（オレンジカフェ）の開催 2回
- ・認知症サポーター養成講座の開催 1回
- ・認知症地域支援推進員養成研修の受講 1回

⑨ 地域支え合い推進員活動と地域協議会の設置に向けた取組み

地域協議会の設置に向け、地域住民等からの情報収集、関係機関等との情報共有・連携の強化に努めました。

- ・地域支え合い推進員連絡会への参加 11回
- ・地域支え合い推進員養成研修の受講 5回
- ・住民・関係機関向け講演会の開催 2回

(2) 研修・諸会議等への出席状況

専門職としての資質の向上を図るため、各種研修会等に積極的に参加しました。

- 地域支援関係者認知症対応力向上研修 1名
- 福島市オレンジプラン（認知症施策）進行管理委員会 1名
- 福島市もの忘れ（認知症）検診テスター（協力者）養成講習会 1名
- 在宅医療・介護連携推進プランナー養成研修会 1名
- 高齢者虐待対応マニュアル基礎研修会 5名
- 高齢者の自立支援に向けた介護事業所向け研修 1名
- 精神障がい者地域生活移行理解促進研修会 2名
- 認知症キャラバン・メイト養成研修 1名
- 高齢者の自立支援に向けた地域ケア会議理解促進講演会 3名
- 「県北医療圏域退院調整ルール」運用評価会議 1名
- 認知症地域支援推進員研修 1名
- 介護支援専門員専門研修Ⅱ 2名
- 精神保健福祉関係職員テーマ別研修会 3名
- 地域包括ケアシステム推進啓発研修 1名
- 認知症高齢者のケア研修会 3名
- 福島市自立支援型地域ケア会議理解促進研修会 2名
- 福島市地域包括ケアシステム推進会議 1名
- 福島市自立支援型地域ケア会議 3名
- 高齢者虐待対応研修会 1名
- 認知症キャラバン・メイト研修 2名
- 福島市在宅医療・介護連携支援センター検討委員会 1名
- 認知症対応薬局研修会 1名
- 五感に働きかけるアロマを活かしたケア 1名
- 福島県若年性認知症自立支援ネットワーク研修会 1名

Ⅲ.ヘルパーステーションけやきの村

ヘルパーステーションけやきの村（訪問介護、第1号訪問介護、居宅介護、重度訪問介護）は、利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立った適切なサービスの提供を行いました。

（1）提供したサービスの内容

- ① 身体介護：利用者の身体に直接接触して行う介助及び利用者と共にを行う自立支援のためのサービス

▽サービスの具体的な内容

排泄介助、食事介助、清拭、入浴介助、整容介助、着衣介助、体位変換、移乗・移動介助、起床・就寝介助、服薬確認、自立支援のための見守りの援助

- ② 生活援助：利用者本人及び家族等が困難な場合に行われる日常生活の援助

▽サービスの具体的な内容

掃除、洗濯、ベッドメイク、衣類の整理、一般的な調理と配下膳、買物、薬の受け取り

〔平成29年度ヘルパーステーションけやきの村稼働状況〕

ヘルパーステーションけやきの村サービス提供内容					
介護保険			障害福祉サービス		
延べ利用者数	派遣回数	稼働時間	延べ利用者数	派遣回数	稼働時間
641名	6,465回	5,132時間	32名	277回	353時間50分
前年度比 -0.3%	前年度比 +2.7%	前年度比 +2.4%	前年度比 -33.3%	前年度比 +13.5%	前年度比 +10.6%

(2) 研修・諸会議等への出席状況

職員の資質向上及び、事業に関する情報の収集等を目的に、各種研修会・会議等に積極的に参加しました。

- 訪問介護テーマ別技術向上研修Ⅰ 1名
- 訪問介護適正実施研修Ⅰ 1名
- 訪問介護適正実施研修Ⅱ 1名
- 訪問介護テーマ別技術向上研修Ⅱ 1名
- 介護保険制度改正に係る説明会 1名

IV.けやきの村指定特定相談支援事業所

けやきの村指定特定相談支援事業所は、サービス等利用計画の作成により障害福祉サービス利用者の自立した生活を支え、障がい者の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、ケアマネジメントの手法によるきめ細かな支援を行いました。

(1) 実施した事業の内容

障害のある利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、サービス等利用計画の作成及び、支給決定後のサービス等利用計画の見直し（モニタリング）を行いました。

〔けやきの村指定特定相談支援事業所契約状況〕

	契約者数	前年度比
けやきの村利用者	61名	-6.1%
青松苑利用者	32名	-8.5%
静心園利用者	47名	+2.1%
在宅障害者	40名	-9.0%
合計	180名	-5.2%

(2) 研修・諸会議等への出席状況

職員の資質向上及び、事業に関する情報の収集等を目的に、各種研修会・会議等に積極的に参加しました。

- 障がい者地域生活移行・地域定着研修会 2名
- 障がい者権利擁護支援研修会 2名
- 福島県障がい者相談支援従事者専門コース別研修 1名

3、職員の健康管理

センターの職員には健康診断を受けさせるとともに、研修等の機会を通じて健康管理の重要性を認識させ、健康状態の管理に努めました。また、労働安全衛生法に基づくストレスチェックを実施し、職員のメンタルヘルスケアに努めました。